

# おばあちゃんのソファ



さく・え やまぎわ たかこ



しほちゃんは おばあちゃんが だいすき。



おばあちゃんの ふかふかのソファに よりかかって  
いろいろなはなしをするときが いちばんすき。

「しほちゃん きょうは なんのはなしを  
しようかねえ。」



「そうだ、カミナリさまがくれた  
ソファのはなしを しようかね。」

「あるひ カミナリさまがね、  
『せんたくもの いつも ぬらしてごめんよ。』って  
くもでソファを つくってくれたんだ。」



「どう ふかふかでしょ？」

「うん。わたあめみたいに ふわふわだね。」



しばらくたった あるひのこと。

おばあちゃんが びょうきで ねこんでしまいました。



しほちゃんは しんぱいでたまりません。



「おばあちゃん はやくげんきになってよお。」

しほちゃんが しくしくなっていると、



ポツ、ポツ、ポツ…

ザーザーザー…。

はげしいあめがふりだしました。



そうだ！

ソファをなおしたら、おばあちゃん

きっと げんきになってくれるよね。



えっさ、ほいさ、えっさ、ほいさ！  
「カミナリさま～ソファをなおしてくださ～い！」



わけをきいたカミナリさま。

「なぬ？あのやさしいばあさまが びょうきとな？

では もっとからだにいいソファを  
つくってやらねばな。」

そういつてから なにやらじゅもんを  
となえはじめました。

「くもよ くもくも こいこいこい  
ポカポカ くもくも こいこいこい。」

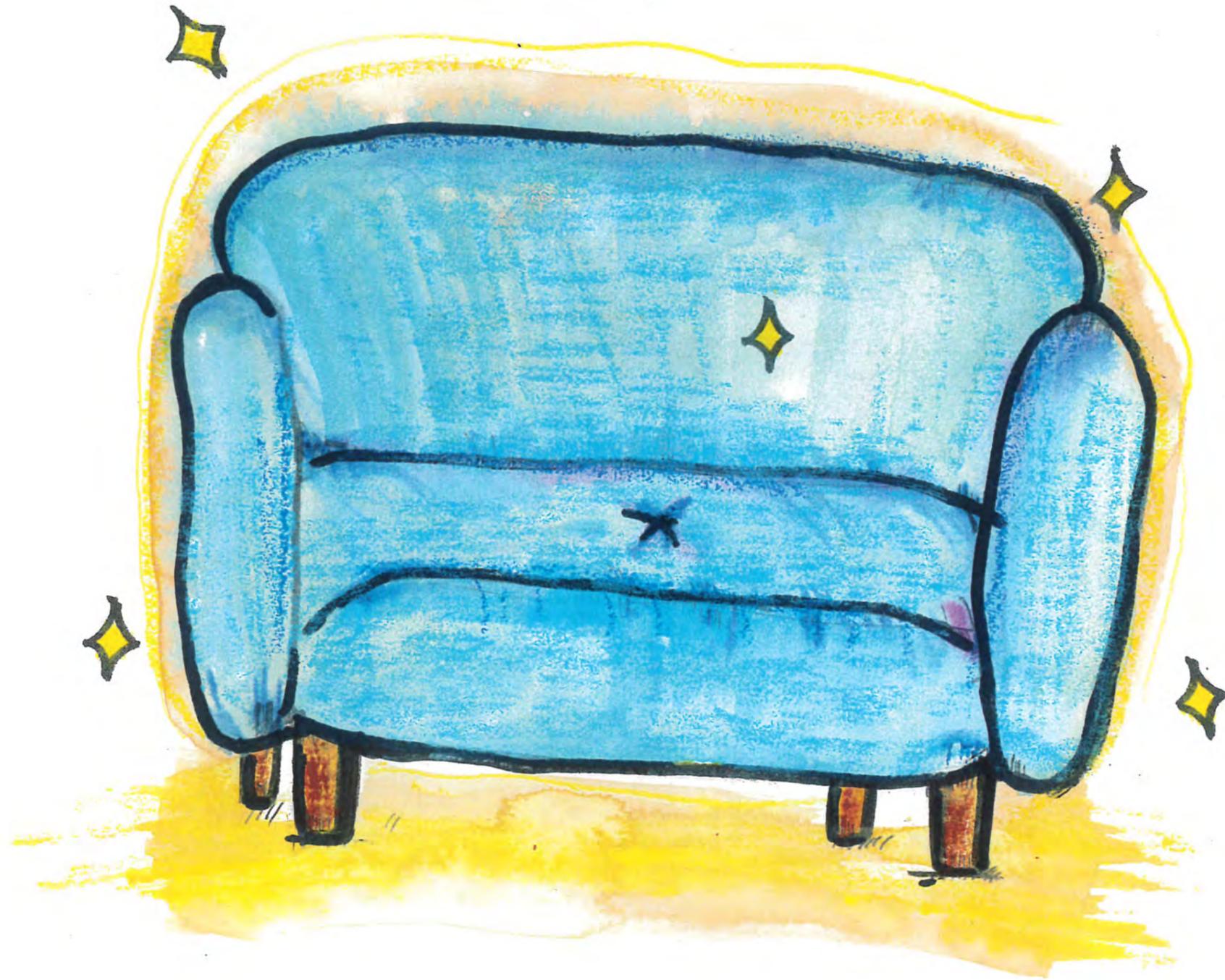


カミナリさまは あつめたくもを  
ソファにくっつけたり  
のぼしたりしはじめました。



じゃーん。

おひさまのひかりを いっぱいあびた  
くものソファのできあがり。



「ありがとう。カミナリさま！」



「おばあちゃん はやくげんきになってね。」

「まあ なんてすてきなソファでしょう。」



おばあちゃんは ソファにゆったりこしかけると、  
「ポカポカ ころろまで あたたかくなる  
さいこうのソファだよ。」  
といて、しほちゃんを ぎゅっとだきしめました。



**NOYES**  
SOFA 100%